

⑥ 中学生議会

< 概要 >

「中学生議会」では、長崎市内の各中学校の代表が長崎市議会の議場を利用し、いじめ防止やまちづくりに関する議論を行っています。令和7年度の中学生議会では、まちづくりに関する議題として「ふるさとの良さや宝を生かし、さらに魅力的な長崎にするためのアイデアを提案しよう」を設定し、中学生の方々からまちづくりのご提案をいただきました。

開催日

令和7年8月18日、19日

議 題

ふるさとの良さや宝を生かし、さらに魅力的な長崎にするためのアイデアを提案しよう

参加者

各中学校の代表 35人

中学生議会の様子



⑥ 中学生議会

< 各生徒から提出された主な提案内容 >

● ソーシャルメディアなどを活用した魅力発信やパンフレット作成に関すること

- PRのためのコマーシャルや動画をつくり、動画サイトに投稿する。
- 校区にある観光地や産品を紹介するコマーシャルをつくり、学校のホームページに掲載する。
- 各中学校対抗地元をPRするコマーシャル作成。
- ソーシャルメディアで、住んでいる地区の魅力を動画やイラストを用いて発信する
- ソーシャルメディアを利用し、長崎の文化を全国に発信する。
- ソーシャルメディアでの発信活動各校で取組む
- 長崎市の風景は素晴らしいので、県外の人たちにも知ってもらうために、長崎市でソーシャルメディアを運用する。
- 中学生が集まってブログをつくり、長崎の食文化、伝統などの魅力を発信する・
- インターネットで長崎の魅力を発信する。長崎の夜景の魅力についてインターネットで発信する。
- 中学生が共同で地元の魅力のパンフレットを作成し、観光会社に頼んで観光客に配布してもらう。
- 各学校の校区内で地域の人々や生徒たちに親しまれている場所や行事などをパンフレットとして作成し、それを各学校に配布する。英語表記のものも用意し、世界の様々な人々に届ける。
- 長崎の観光地や名物が食べられる場所とおすすめのルートが書かれているパンフレットを製作する。
- 学校ごとに校区の魅力をパンフレットにし、学校だよりやホームページに掲載する。学校代表のパンフレットを決め、市内学校の校区パンフレットコンテストを実施し、最優秀賞を決め、表彰する。
- 自分の地域のおすすめスポットを各中学校一つずつ選び、まとめてマップにする。
- 知る人ぞ知る地元の穴場スポットやお店などを紹介する。

● 長崎の魅力を巡るイベント開催に関すること

- 歴史を感じられるところ（大浦天主堂やグラバー園）でスタンプラリーを行う。
- 坂道や山などをもっと楽しめるようにスタンプラリーを実施する。スタンプラリーの景品として、長崎の銘菓をプレゼントとする。
- 長崎は島の数が多いけれどあまり行く機会がないので「島をめぐるスタンプラリー」を開催したら行く機会ができ魅力も知れると思う。
- 町ごとの御朱印やスタンプラリーを設置。
- 長崎市の観光地（グラバー園、オランザ坂など）を周りながら行うスタンプラリー。
- 長崎の島々や町をめぐる観光イベントの開催。

● 長崎の食や文化を活用したイベント開催に関すること

- 過疎地などで「長崎みつけ祭り」をする。あまり話題にならない企業や農産物、魚介類を使った料理などを使い、アプローチする。
- 自然豊かで、特に海に囲まれた環境であることから、長崎の魚や水産業についてPRするイベントや祭りを行う。幼児から大人まで楽しめる内容にする。
- ちゃんぽんやカステラ、皿うどんなどの長崎の伝統的な食文化を販売するお店を市が支援して、県内外で食のお祭りを開く。
- 長崎の伝統工芸品や郷土料理などの体験イベントの実施。
- 長崎よかもんフェスを開催する。長崎特有の食べ物やお祭り、工芸品などを展示するフェスを開催し、県外の人にも来てもらう。
- 長崎の伝統料理の祭りを開く。
- 長崎市内のびわの食べ比べを行うイベント。長崎の海の幸を生かした釣り大会。

● 空き家や廃校を活用した長崎の魅力発信や学びに関すること

- 廃校を宿泊施設として使う。そこで、給食を出したり、文化祭を行ったりする。また、長崎で有名なグラバー園や軍艦島などの授業をする。
- 観光客がホテルではなく、長崎の空き家を利用して泊まってもらうと、長崎の自然の良さや人の良さを感じることができると思う。
- 廃校跡地などを活用し、体験施設をつくる。一つの建物内で色々できると、家族や友達と一緒にでも別々でも楽しめる。